

わが町 マイ・コミュニティ No.95

横須賀市 2009.12.28

上町商盛会商店街振興組合



森 昭 理事長

商店街事務所
横須賀市上町2-3
TEL.046-822-1521

上町商盛会は京急横須賀中央駅から、県道三崎線の平坂を上り、徒歩10分、大正から昭和の始めの頃流行った、銅板を使って店構えをした看板建築を取り入れた店が多く、その街並みの様子を組み込んだアーケードを構える商店街。平坂を上ることが出来ない馬車が、林、芦名、長井、三浦方面から来ての折り返し地点としていたことから、馬力屋、馬屋が点在していたと聞いた。明治の終り頃の話だそう。

関東大震災を受けながらも残った店、他の地にて被災、この地に移り店を構えた人達の集まりから作られた商店の立並ぶ地、時を経て、昭和元年にその集まりがまとまり、商店会を形成して行くことになった。今の始まりである。

諸先輩の強い結束があり、しっかりとした地盤が築かれ其々の商店がこの地において、2代目、3代目となった平成5年4月、上町商盛会は法人化することとなった。会員の理解と協力は多大であることはもとより、市、県の行政の適切な指導、地元実力者の後援に深く感謝の意を表します。

その後、1店の反対もなくアーケードの建設に取り組み、平成14年3月末完成、同時に進められた、電線の地中化、車歩道の整備も翌年完了、今に至っております。

法人化と時を同じくして始めた「秋の大収穫祭」。しっかりと続けられるソフト事業の始まりであった。

ハード事業への取り組みと並行してソフト事業の確立へ「ご利用下さるお客様へのサービスを全面に」を念頭に全力を傾注して居ります。



灯ろう夜市

時の流れの中で、NPO法人「アングージユマンよこすか」が空店舗に入り仲間入り、不登校、ひきこもりと苦しむ若者が自分を開く為に集うオープンスペース、彼等にとっても商盛会にとっても、良き場であったと思う。

今、商盛会は環境の二文字に向かって、イベント・セールにと微力ではあるが歩み始めた。毎年7月に行う「灯ろう夜市」も、もう今年で4回目、ダンボールを切り込み、灯ろうを作った。公募で集めた絵、書等、ろうそくのゆれる灯りが楽しい、灯ろうは翌年リユース！ 5月から準備をし6、7月と発育、緑のカーテンがこれ又楽しい、盛夏には日影を作り、歩道を行き交うお客様に涼感をプレゼント。

地球温暖化防止に一役を「打ち水大作戦」雨水、生活水を溜め打ち水として使用、地表温度を僅かだが下げる、出来ることからやる、そんな街づくりをしています。その他にも、種々やっています。ぜひ歩いてみて下さい。お待ちしております。

商店街役員

- | | |
|------|-------|
| 理事長 | 森 昭 |
| 副理事長 | 萩原 章介 |
| 副理事長 | 今井 邦幸 |
| 副理事長 | 小瀬村 智 |
| 理事 | 山崎 毅 |
| 理事 | 伊東 良彦 |
| 理事 | 加藤 重良 |
| 理事 | 鈴木 泰子 |
| 理事 | 田中 昌一 |



緑のカーテン

この欄に掲載ご希望の町内会・自治会・商店会等の各種団体は、神奈川県新聞横須賀支社 電話046(822)2020までご連絡ください。